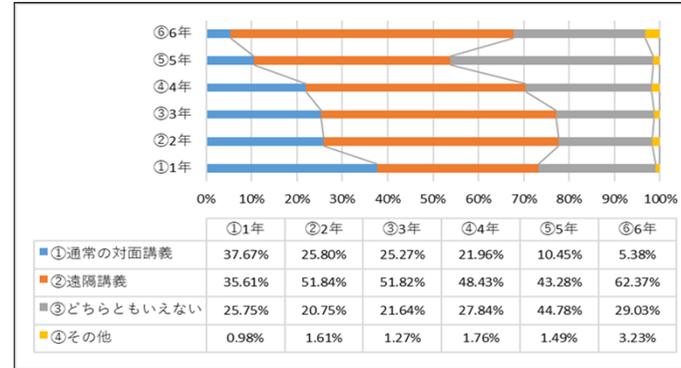


表題 **学生と共に育むニューノーマル時代の教学マネジメント～正課・正課外教育の新しい姿～**

【1】ニューノーマル時代の教学マネジメント～コロナ禍での授業による学修成果の迅速な把握と改善充実～

山口大学では、コロナ禍の授業対応において、前期中に行った全学生・教職員を対象とした「遠隔講義アンケート」及び「学生授業評価アンケート・教員自己評価アンケート」の結果をもとに、学修成果の迅速な把握と改善充実に努め、後期の授業実施に反映してきました。後期における対面授業の実施状況を随時把握しつつ、アフターコロナを見据えたハイブリット型授業実践に積極的に取り組んでいます。

2020年度前期実施「遠隔講義アンケート(学生版)」(N-5,004)
(1年生は他学年に比べ「通常の対面授業」を望む声が多い結果)



2020年度後期における対面授業実施状況(N=1,474)(12月現在)



【2】正課教育の新しい姿～ハイブリット型授業の取組～

①ブレンド型授業の取組・・・学部1年生必修科目「知の広場」(キャリア教育)は、本学最大の受講者を誇る約400名クラスですが、後期では、対面授業回とオンライン授業回を事前に決めて実施するブレンド型授業の形式を採用しています。本科目は大人数授業ですが、対面授業を希望する1年生に配慮した授業運営を実現しています。



(対面授業「知の広場」での1年生受講風景)

②ハイフレックス型授業の試行・・・大学院共通科目「研究開発戦略論」は、約200名クラスの大人数授業ですが、講義室とオンラインでの同時聴講を可能とする学習環境とともに、かつ、オンデマンド教材作成を容易にする授業収録環境を整備しています。

(同内容は、国立情報学研究所(NII)主催の第22回「4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウムにて、技術経営研究科 大島直樹 教授、岡本和也 教授が報告(右図は報告資料の一部抜粋))



【3】正課外教育の新しい姿～学生による学生のための動画編集入門講座の取組～

大学教育におけるデジタル活用が一層進むことが予想される中で、教職員だけでなく、学生自身が動画コンテンツを作成・編集する知識やスキルが日常的に必要とされる時代となっています。今回、教学マネジメント室の学生スタッフ3名が講師を務め、1年生を主な対象とした動画編集入門講座を2020年12月に新たにオンライン開催し、計2回で延べ61名の参加がありました。



01	02	03
動画編集の基本的な作法を学ぶ	実際に編集風景を見て学ぶ	編集された作品を見て学ぶ
カット、効果音、字幕、BGM、色調などを調整する。動画制作の楽しさを感じてもらう。	実際に編集ソフトを使い、制作する動画を制作してもらう。	アイデアや編集の仕方、制作の楽しさ、制作後の動画を制作してもらう。
聴講方法	Zoomによるオンライン開催	申込方法
日時	12/17(木)12:00～12:40 12/22(火)12:00～12:40	以下の申込フォームURLにアクセスし、申込項目を入力し、送信してください。 申込締め切りは、Zoomプラットフォーム等の都合により、申込締め切りは12/18(火)までです。 申込締切は12/18(火)まで。
定員	各回50名まで	講師
講師	教学マネジメント室 学生スタッフ 藤井(二) 弘二(三) 小林(三) 1	

(「動画編集入門講座」チラシ及び当日の学生スタッフによる講師風景)

